

摂食・えん下機能支援事業について

練馬区歯科医師会 田中 賦彦

背景

○高齢者人口の増加(161,380人 令和3年1月1日現在)

○摂食・えん下機能の低下による問題

要介護高齢者の約18%が何らかの摂食・えん下障害を持つ。

区内の推計 約4,838人(26,881人※×18% 令和3年3月末日現在)

○練馬つつじ歯科診療所摂食・嚥下リハビリテーション外来での経験

(平成18年5月～)

※要介護1～5の人数の合計

経緯

平成28年4月 練馬区摂食・そしゃくえん下機能支援推進協議会設置

※構成メンバー:練馬区医師会、練馬区歯科医師会、練馬区薬剤師会、練馬区介護サービス事業者連絡協議会、訪問看護ステーション連絡会、練馬区地域包括支援センターから推薦された方、区職員

平成29年1月 摂食・えん下機能支援事業開始

平成31年度～ 練馬区摂食・そしゃくえん下機能支援推進協議会会の役割が
練馬区在宅療養推進協議会在宅療養専門部会に移行

摂食・えん下機能支援事業

【目的】

多職種連携による摂食・えん下機能低下の発見
その後、適切な支援へつなげる

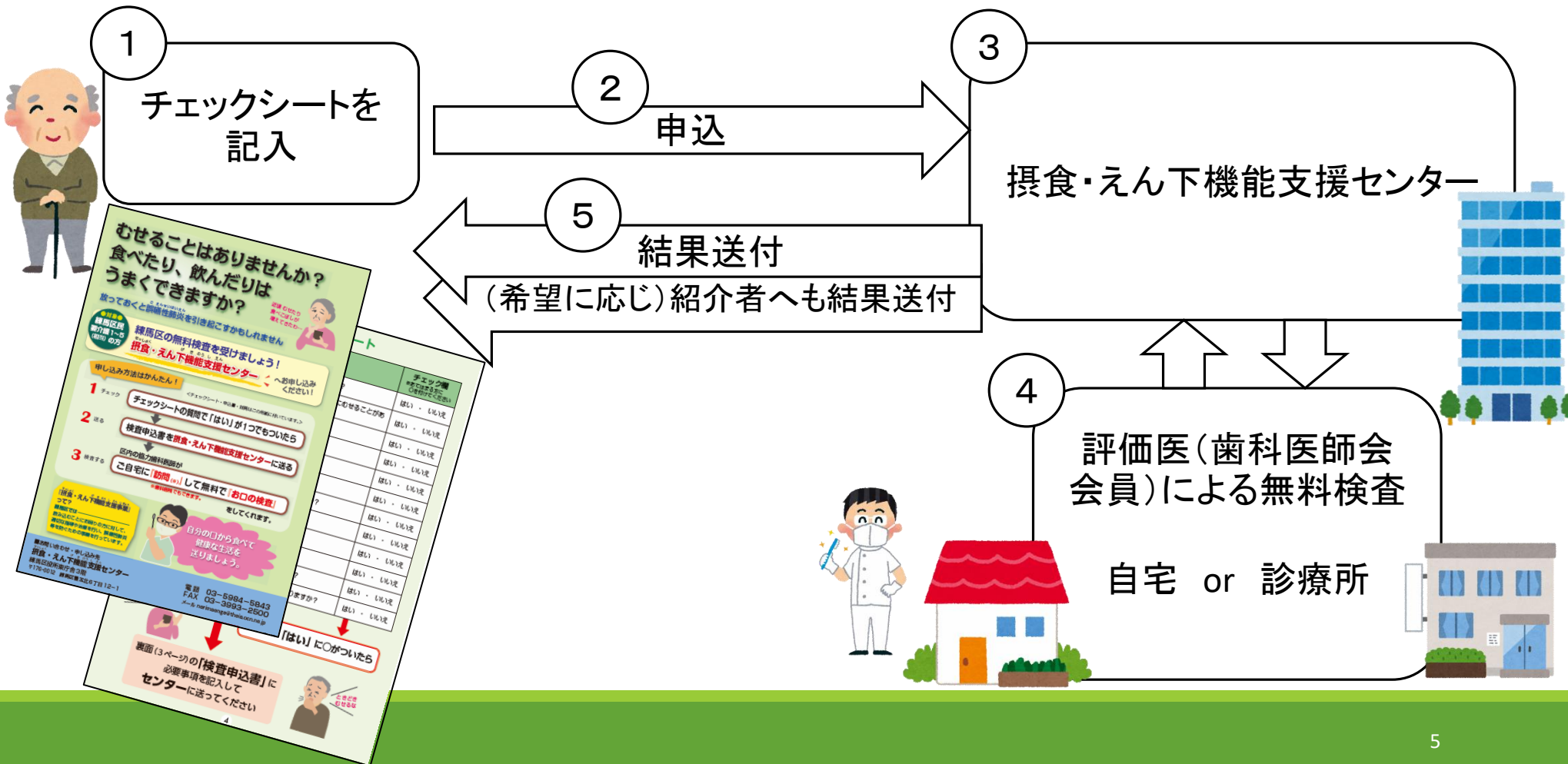
【概要】

練馬つつじ歯科診療所での経験を活かし、摂食・えん下機能低下のある要介護高齢者に対して、チェックシートによる簡易的なスクリーニングを実施したのちに適切な治療やリハビリにつなげる

【対象者】

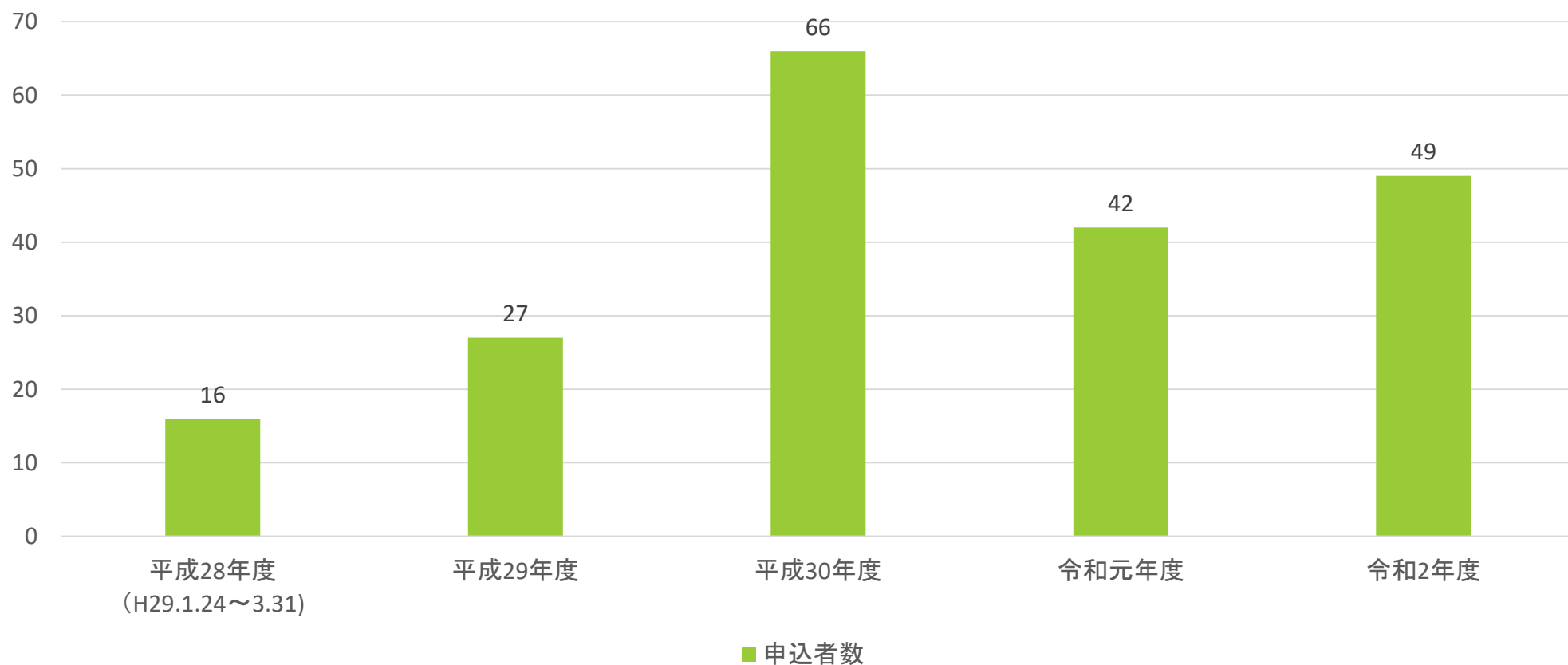
要介護1～5(相当)の練馬区民

摂食・えん下機能支援事業のフロー



事業実績

申込者数



周知についての相談

【周知媒体】

別紙 摂食・えん下機能支援事業のご案内

【相談】

どのようなところに周知をしたらよいか。